

第 8 号様式 (第 16 条関係)

協働事業評価シート

平成 29 年 3 月 31 日

提案者 (団体名・代表者 氏名)	川とのふれあい公園花壇の会 代表 河合 靖
協働事業名	川とのふれあい公園花壇等の整備および維持管理
事業協力課	都市計画課
準備段階	<p>1. 協働が開始された段階は <input checked="" type="checkbox"/>準備段階 <input type="checkbox"/>実施段階 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2. 協働の呼びかけはどちらからか <input checked="" type="checkbox"/>団体から <input type="checkbox"/>町 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3. 協働で行うことの意義は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 意義 (①河川管理者の承認申請は公園管理者が行う。 ②広場等の草刈や荊草等の処理を公園管理者が行っている。)</p> <p>4. 事業の目的は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 目的 (①花壇ボランティア活動の活性化 ②町の花スイセンの PR ③荊草等のリサイクル<堆肥化>)</p> <p>5. 事業目標 (目標に対して何がどのようになるか) は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 目標 (①合板区画を設置し、花壇等の荊草や除草ゴミの発生がなくなること。 ②ヒガンバナ科専用の花壇を設け町の花スイセンの PR が出来ること。)</p> <p>6. 町 (事業協力課) との相互理解は十分だったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 (当初、多少食違いはみられたが、事業が進むにつれて相互理解が深まった)</p>

<p>実施段階</p>	<p>7. 事業実施上の役割分担は適切だったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（専門的なことやドリル等の道具を活用できた。）</p> <p>8. 進捗状況や情報は共有できたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（メールや電話でやり取りできた。）</p> <p>9. 実施のプロセスで記録は残せたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（メールでの記録や写真を撮った。）</p> <p>10. 団体と町の互いの特性を活かすことができたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（いいえという理由もないので。）</p>
<p>終了後の段階</p>	<p>11. 目標・目的は達成できたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（①河川管理者の認可内容がもくろみと変わり、合板区画設置範囲が約半分、半年遅れとなり青草の時期を逃したが、堆肥化の体制ができあがり実際に稼働しはじめた。4,000 kgのごみ減量が出来た。 ②協働花壇もスタートし、看板の設置もできた。）</p> <p>12. 今後の課題や改善策を話し合ったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（次年度の継続が必要と判断したため。）</p> <p>13. 事業全体を見て、事業に対する満足度は 5 ④ 3 2 1 【高い：5 低い：1】 理由（11番の理由）</p> <p>14. その他気づいた点など（自由記入） ①事業には不確定要素があることから、中間報告以降の費用変更が可能な仕組みづくりをお願いします。 ②費用削減により発生した残金を返金できる仕組みづくりをお願いします。</p>

協働事業評価シート

平成29年 4月7日

<p>提案者 (団体名・代表者 氏名)</p>	<p>非営利型一般社団法人 住みよい町・さむかわにする会 鈴木 茂</p>
<p>協働事業名</p>	<p>子ども未来塾 ~生活困窮家庭のこどもへの「学習支援事業」~</p>
<p>事業協力課</p>	<p>教育委員会</p>
<p>準備段階</p>	<p>1. 協働が開始された段階は <input checked="" type="checkbox"/>準備段階 <input type="checkbox"/>実施段階 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2. 協働の呼びかけはどちらからか <input checked="" type="checkbox"/>団体から <input type="checkbox"/>町 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3. 協働で行うことの意義は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 意義 (経済的に恵まれない、高校進学を希望する次代の若者に教育の機会均等を行政と一体となって援助をはかり、この町に愛着を持ち、大きくなってからも、この町に住み続ける若者を育てる。地域と学校が一体となり、当事業をすすめることは行政との協働事業として相応しいものとする。)と考える。</p> <p>4. 事業の目的は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 目的 (塾に通えない子どもたちの学力向上をはかり、志望高校への進学の希望を実現する。子供たちが将来的にこの町に愛着を持つようにする。)</p> <p>5. 事業目標 (目標に対して何がどのようになるか) は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 目標 (塾生全員の志望高校合格し、将来的な自己展開がはかれる契機とする。その結果として寒川の町に愛着を醸成し、貧困連鎖を阻止する。)</p> <p>6. 町 (事業協力課) との相互理解は十分だったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 (適切な協力とアドバイスを受けた)</p>

<p>実施段階</p>	<p>7. 事業実施上の役割分担は適切だったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（学校での当会の活動に対し、学校教育課より募集案内配布。）</p> <p>8. 進捗状況や情報は共有できたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（適宜、情報交換し進捗具合を確認できた。）</p> <p>9. 実施のプロセスで記録は残せたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（授業来歴を記録し、各生徒の今後の学力向上のための課題を生徒、講師間で把握）</p> <p>10. 団体と町の互いの特性を活かすことができたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（学校教育課の協力により寒川三中学より塾生の参加が得られた。但し、想定したよりは応募学生が少なかったことは今後の改善をはからなければならない。）</p>
<p>終了後の段階</p>	<p>11. 目標・目的は達成できたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（生徒全員の志望高校進学を達成し、高校入学後も必要に応じ連絡を取り合える連絡網の構築ができた。）</p> <p>12. 今後の課題や改善策を話し合ったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（当塾の存在意義を向上させるために講師、生徒間で話し合いを持ち、今後の事業改善事項をはかっていきたい。）</p> <p>13. 事業全体を見て、事業に対する満足度は 5 4 ③ 2 1 【高い：5 低い：1】 理由（当塾の存在に対して、更なる周知活動が必要で、現在の寒川の中学で存在すると考えられる200人程度の困窮児に対して拡大が必要であるとする。講師としてのシニア層、学生層に等事業の理解をはかる。）</p> <p>14. その他気づいた点など（自由記入） 学力の更なる向上のためには塾生の「やる気」の向上が重要であり、そのためには開始時期を中学一年生より開始し、小学校高学年からの不明点を無くし、高校受験までに学力の充実を図る必要がある。また、各種講習会に参加し講師の技術力の向上をはかる必要がある。</p>

協働事業評価シート

平成 29 年 4 月 4 日

<p>提案者 (団体名・代表者 氏名)</p>	<p>寒川ネコの会 代表 渡辺 良美</p>
<p>協働事業名</p>	<p>捕獲して、不妊・去勢手術をして、元の場所に戻す活動 (TNR 活動) 及び子猫の保護と里親制度の活用</p>
<p>事業協力課</p>	<p>環境課、都市計画課</p>
<p>準備段階</p>	<p>1. 協働が開始された段階は <input type="checkbox"/>準備段階 <input checked="" type="checkbox"/>実施段階 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2. 協働の呼びかけはどちらからか <input type="checkbox"/>団体から <input type="checkbox"/>町 <input checked="" type="checkbox"/>その他</p> <p>3. 協働で行うことの意義は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 意義 (野良猫問題を解決するため、町と情報共有しながら行った) (町と協働で事業を行うことで、TNR 活動及び子猫の保護の実施をスムーズに行うことができる。)</p> <p>4. 事業の目的は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 目的 (野良猫の増加を抑制し、地域住民から猫に対する理解を得る) (野良猫の増加による公園内の衛生悪化を防止する。)</p> <p>5. 事業目標 (目標に対して何がどのようになるか) は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 目標 (一之宮公園周辺における野良猫の減少) (公園内の野良猫増加を防止する。)</p> <p>6. 町 (事業協力課) との相互理解は十分だったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 (今後も良好な関係を築きながら団体の自主的な活動を継続する) (捕獲を行う場所を町が用意して、TNR 活動と、子猫の保護及び里親活動を団体が行う)</p>

評価内容(意義、目的、目標、理由)

{ 上段=環境課
下段=都市計画課

<p>実施段階</p>	<p>7. 事業実施上の役割分担は適切だったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（情報共有しながら必要に応じて支援を行った （事業の実施に当たりスムーズに業務を行う事が出来たため）</p> <p>8. 進捗状況や情報は共有できたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（定期的に情報交換を行うことができた （手続等の進捗状況の報告や活動報告をしていたため）</p> <p>9. 実施のプロセスで記録は残せたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（団体により、実施の議事録等を残すことができた （実施方法について報告書等で提出していただいたため）</p> <p>10. 団体と町の互いの特性を活かすことができたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（町ではできない捕獲等を協働の観点から団体が自主的に実施し、 町は実施に伴う掲示板の作成等を行った。） （町だけでは手薄になっている部分を、団体の活動により補完できた）</p>
<p>終了後の 段階</p>	<p>11. 目標・目的は達成できたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（目標・目的のとおり、野良猫の増加を抑制することができた （当初計画より多く、TNR活動と子猫の捕獲を行う事が出来たため）</p> <p>12. 今後の課題や改善策を話し合ったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（実施範囲の拡大や会員の増員等） （野良猫と飼い猫を誤って捕獲しないよう注意する。エサやりをしている人に対するの注意した際のトラブルについて。）</p> <p>13. 事業全体を見て、事業に対する満足度は <input checked="" type="checkbox"/>5 <input type="checkbox"/>4 <input type="checkbox"/>3 <input type="checkbox"/>2 <input type="checkbox"/>1 【高い：5 低い：1】 理由（増加の一途をたどっていた一之宮公園周辺の野良猫は、不妊去勢 手術及び里親制度の活用により増加を抑制することができた （当初計画数より多くの成果を上げており、野良猫の増加防止につながっていると判断したため。）</p> <p>14. その他気づいた点など（自由記入）</p> <p>不幸な野良猫をこれ以上増やさないためには、今後も町と連携を図り、継続的に実施していく必要があると考える。</p>

協働事業評価シート

29年3月31日

<p>提案者 (団体名・代表者 氏名)</p>	<p>(一社)住みよい町・さむかわにする会 理事長 鈴木 茂</p>
<p>協働事業名</p>	<p>町の樹木再生による水と緑の自然溢れるさむかわ創生活動(2年目)</p>
<p>事業協力課</p>	<p>教育委員会、都市計画課、道路課</p>
<p>準備段階</p>	<p>1. 協働が開始された段階は <input type="checkbox"/>準備段階 <input checked="" type="checkbox"/>実施段階 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2. 協働の呼びかけはどちらからか <input checked="" type="checkbox"/>団体から <input type="checkbox"/>町 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3. 協働で行うことの意義は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 意義（樹木状態の定点観測結果により、町は今後の樹木の維持管理向上に役立てる事が出来る）</p> <p>4. 事業の目的は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 目的（自然を守り・活かす継続的活動で、豊かな緑と環境を創造する）</p> <p>5. 事業目標（目標に対して何がどのようになるか）は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 目標（寒川駅周辺自然環境整備、町公共施設の樹勢回復及び樹木の棚卸）</p> <p>6. 町（事業協力課）との相互理解は十分だったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（分担作業は滞りなく進んだ）</p>

<p>実施段階</p>	<p>7. 事業実施上の役割分担は適切だったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 (分担内容を事前に決めていた)</p> <p>8. 進捗状況や情報は共有できたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 (中間段階の情報共有化で、更に協働の精神が生きると考える)</p> <p>9. 実施のプロセスで記録は残せたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 (別紙参照)</p> <p>10. 団体と町の互いの特性を活かすことができたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 (団体はノウハウと小回り、町は車等のストックを生かす)</p>
<p>終了後の 段階</p>	<p>11. 目標・目的は達成できたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 (問題樹木の樹勢回復が見られ、公共施設の棚卸も出来た)</p> <p>12. 今後の課題や改善策を話し合ったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 (継続作業が不可欠、予算に準拠した対応で前進合意)</p> <p>13. 事業全体を見て、事業に対する満足度は 5 ④ 3 2 1 【高い：5 低い：1】 理由 (目標をほぼ達成) 当初の活動計画を途中で一部変更を行ったものの、臨機応変に対処でき、概ね満足のゆく結果となった。ただ、駅前公園の北側樹木(シラマシ)2本の樹勢回復遅れが気になる。次年度以降の経過観察と樹勢回復作業継続が待たれる。</p> <p>14. その他、気づいた点など (自由記入) 樹木の樹勢は自然環境に大きく依存するが、これに加え無知な剪定による人為的な樹勢劣化をもたらしている事例が多々散見された。 次年度は樹木生理勉強会を通じて、二次的な被害を最小限にする試みを開始したい。</p>

協働事業評価シート

平成29年4月3日

<p>提案者 （団体名・代表者 氏名）</p>	<p>小谷地域防犯安全パトロール隊 佐藤 信</p>
<p>協働事業名</p>	<p>青色回転灯装着車両による防犯安全パトロール事業</p>
<p>事業協力課</p>	<p>協働文化推進課</p>
<p>準備段階</p>	<p>1. 協働が開始された段階は <input type="checkbox"/>準備段階 <input checked="" type="checkbox"/>実施段階 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2. 協働の呼びかけはどちらからか <input checked="" type="checkbox"/>団体から <input type="checkbox"/>町 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3. 協働で行うことの意義は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 意義（ 警察との手続きや調整を行政の事業協力課と共に行う事により簡素化）</p> <p>4. 事業の目的は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 目的（ 犯罪や事故、事件の未然防止及び防犯交通安全の意識向上）</p> <p>5. 事業目標（目標に対して何がどのようになるか）は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 目標（ 地域内の犯罪件数及び交通事故件数減少）</p> <p>6. 町（事業協力課）との相互理解は十分だったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（ 地域で出来る事は地域で行い地域で行いにくい専門的な手続き等は行政が協力して行うとした協働関係）</p>

<p>実施段階</p>	<p>7. 事業実施上の役割分担は適切だったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 (協働の考えのもとスムーズに事業展開出来た)</p> <p>8. 進捗状況や情報は共有できたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 (手続きの進捗状況の確認について情報共有を行い活動状況についても連絡を取りあっていた)</p> <p>9. 実施のプロセスで記録は残せたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 ()</p> <p>10. 団体と町の互いの特性を活かすことができたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 (町だけでは手薄に成っている部分を協働の観点から団体が補完してくれた)</p>
<p>終了後の段階</p>	<p>11. 目標・目的は達成できたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 (地域における防犯、交通安全に対する意識向上が図れた為)</p> <p>12. 今後の課題や改善策を話し合ったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 (団体が実施回数を増やした為)</p> <p>13. 事業全体を見て、事業に対する満足度は ⑤ 4 3 2 1 【高い:5 低い:1】 理由 (地域での防犯、交通安全の意識向上になっており地域住民の安全安心につながっていると判断する為)</p> <p>14. その他気づいた点など (自由記入)</p>